

科目名	建築計画 I	英語科目名	Architectural Planning I
開講年度・学期	平成 21 年度・通年	対象学科・専攻・学年	建築学科・3 年
授業形態	講義	必修 or 選択	選択
単位数	2 単位	単位種類	履修単位 (30h)
担当教員	尾立弘史	居室 (もしくは所属)	建築学科棟 2 階デザインスタジオ内 (A-208-4)
電話	0285-20-2835	E-mail	oryu@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
1. 人体寸法から機能寸法、単位空間の寸法を理解する 2. 住宅の計画から設計方法を理解する。 3. 集合住宅の計画方法の基礎を理解する 4. 高層建物 (事務所) の計画方法の基礎を理解する			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
主に定期試験により 60%以上で評価するが、2は演習とレポートにより評価を加味する。			
評価方法			
定期試験 4 回 70% 演習 30% で評価する。			
授業内容			
1. ガイダンス 住宅作品の紹介			
2. 製図方法の復習			
3. 建築の表現			
4. 人体寸法			
5. 起居 調理			
6. 用便 入浴			
7. 洗面 収納 駐車場			
8. (中間試験)			
9. 通路 廊下 階段			
10. エレベータ・エスカレータ			
11. 屋外施設			
12. 環境			
13. 外部空間オープンスペース			
14. 場面の採取			
(定期試験)			
15. スライド			
1. 構造計画 柱壁			
2. 集住の種類 変遷			
3. 住戸平面の変遷			
4. 分類 高さ 密度 形態			
5. 高層住宅のアクセス方式			
6. 低層住宅の交通問題			
7. S I・コーポラティブ			
8. (中間試験)			
9. 千里ニュータウン			
10. 定期借地権			
11. 近隣住区			
12. 高層建物			
13. 移動・避難計画			
14. 事務所建築のコア			
(定期試験)			
15. 事例紹介			
キーワード	寸法、住宅、集合住宅、事務所		
教科書	日本建築学会 「コンパクト建築設計資料集成 第3版」 丸善		
参考書	各種建築・デザイン関連雑誌		
小山高専の教育方針①~⑥との対応		③	
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
JABEE 基準 1 の (1) との関係			
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目	建築一般構造		
現学年の関連科目	建築設計 I A B		
次年度以降の関連科目	建築計画 II		
連絡事項			
設計に必要な身の回りの物の寸法に関心を持つこと。実際の設計例をスライドなどで紹介するが、各自建築関連雑誌で多くの作品に目を通しておくこと。			
シラバス作成年月日	平成 21 年 3 月 1 日		